

地方連合会・地域協議会の組織と活動に関する調査研究報告書

「地方連合会・地域協議会の組織と活動に関する調査研究」（* 主査）

- * 中村 圭介（法政大学大学院 教授）
前浦 穂高（J I L P T 副主任研究員）
西村 純（J I L P T 副主任研究員）
山根木 晴久（連合 総合組織局 総合局長）
宇田川 浩一（連合 総合組織局 組織拡大・組織対策局 局長）

（役職名は2017年9月時点）

連合総研では、2007年度より実施したシリーズ研究「21世紀の日本の労働組合活動に関する調査研究」において、「非正規労働者の組織化」に続く第2のテーマとして「地域労働運動ルネッサンス-地域に根ざした顔の見える労働運動」を設定した。同調査研究においては10のモデル地協に対してヒアリングを行い、その研究成果として、『「地域協議会の組織と活動の現状」調査報告書』（2010年4月）をとりまとめた。

その後、2012年6月から全国260の新地協体制がスタートし、組織拡大、中小・地場組合支援、政策提言、政治活動など多くの地域活動を担っている。そこで、連合総研では連合と共同して、新体制の下でこれらの活動を担い、「地域で顔の見える労働運動」の推進主体である地方連合会と地域協議会の組織と活動の実態を明らかにすることを目的に、2016年10月「地方連合会・地域協議会の組織と活動に関する調査研究委員会」（主査：中村圭介 法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授）を設置し実態研究を進めてきた。

本研究委員会では、5地方連合会11地域協議会に対してプレヒアリングを行った上で、全ての地方連合会、地域協議会へのアンケート調査を実施した。アンケート調査に基づき、報告書の中では、地方連合会及び地域協議会の活動を類型化するとともに、今後、全ての組織で行うべき活動とそのための課題を整理している。

目次

総論 地域から変える

第I部 地方連合会アンケート結果の分析

- 第1章 単純集計
- 第2章 地方連合会の方針別の分析
- 第3章 地方連合会の諸活動の詳細分析
- 第4章 まとめ

第II部 地域協議会アンケート結果の分析

- 第1章 地域専従者の特徴と加盟単組/産別地方組織との連携の実態
- 第2章 内なる連携（加盟単組・産別地方組織との連携）と地協活動
- 第3章 地域協議会の政治・政策制度要請活動
- 第4章 地域協議会の活動の現状と方向性

参考資料 アンケート調査票と単純集計結果